

福島第一原子力発電所2号機

シールドプラグの変形

(第32回会合資料4-1の一部訂正)

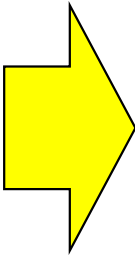
2022年12月5日

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

- 東京電力福島第一原子力発電所におかえる事故の分析に係る検討会の第32回会合（2022年10月31日）にて提示した資料4－1について、一部の内容に事実誤認があったため、次ページのとおり内容を訂正する。
- また、既にホームページに掲載されている第32回会合の資料中の当該ページには「当該ページは一部の内容に事実誤認があるため、第33回会合（2022年12月5日）資料●にて内容を訂正しています。」といった注記を追加する。

<1F2号機のシールドプラグの変形要因の検討>

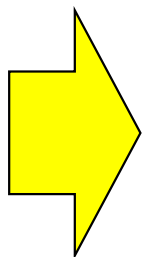
- 1F1号機、2号機、3号機及び5号機のシールドプラグは変形が確認された。一方、1F6号機、島根1号機及び敦賀1号機のシールドプラグは変形が確認されなかった。
- 変形が確認されたシールドプラグのうち、1F1号機～3号機のシールドプラグは、事故時に生じた何らかの外力により変形した可能性が考えられるが、1F5号機のシールドプラグは、何らかの外力により変形した可能性は低いと考えられる。
- シールドプラグ表面の状態、シールドプラグの開閉履歴及び開閉方法は、シールドプラグの変形の有無にかかわらず、形状測定を実施したプラントでは同様である。



1F2号機（及び5号機）のシールドプラグの変形要因について、シールドプラグ施工時に既に生じていた可能性、経年による変形の可能性、何らかの外力による変形の可能性等が考えられるが、いずれにしてもシールドプラグの変形によりシールドプラグのパーツ間のすき間に放射性物質の放出経路が生じたと考えられることには変わらない。

<1F2号機のシールドプラグの変形要因の検討>

- 1F1号機、2号機、3号機及び5号機のシールドプラグは変形が確認された。一方、1F6号機、島根1号機及び敦賀1号機のシールドプラグは変形が確認されなかった。
- 変形が確認されたシールドプラグのうち、1F1号機及び3号機のシールドプラグは、水素爆発時により生じた外力により変形したものと推測されるが、1F2号機及び5号機のシールドプラグは、何らかの外力により変形した可能性は低いと考えられる。
- シールドプラグ表面の状態、シールドプラグの開閉履歴及び開閉方法は、シールドプラグの変形の有無にかかわらず、形状測定を実施したプラントでは同様である。



1F2号機（及び5号機）のシールドプラグの変形要因について、シールドプラグ施工時に既に生じていた可能性、経年による変形の可能性、何らかの外力による変形の可能性等が考えられるが、いずれにしてもシールドプラグの変形によりシールドプラグのパーツ間のすき間に放射性物質の放出経路が生じたと考えられることには変わらない。